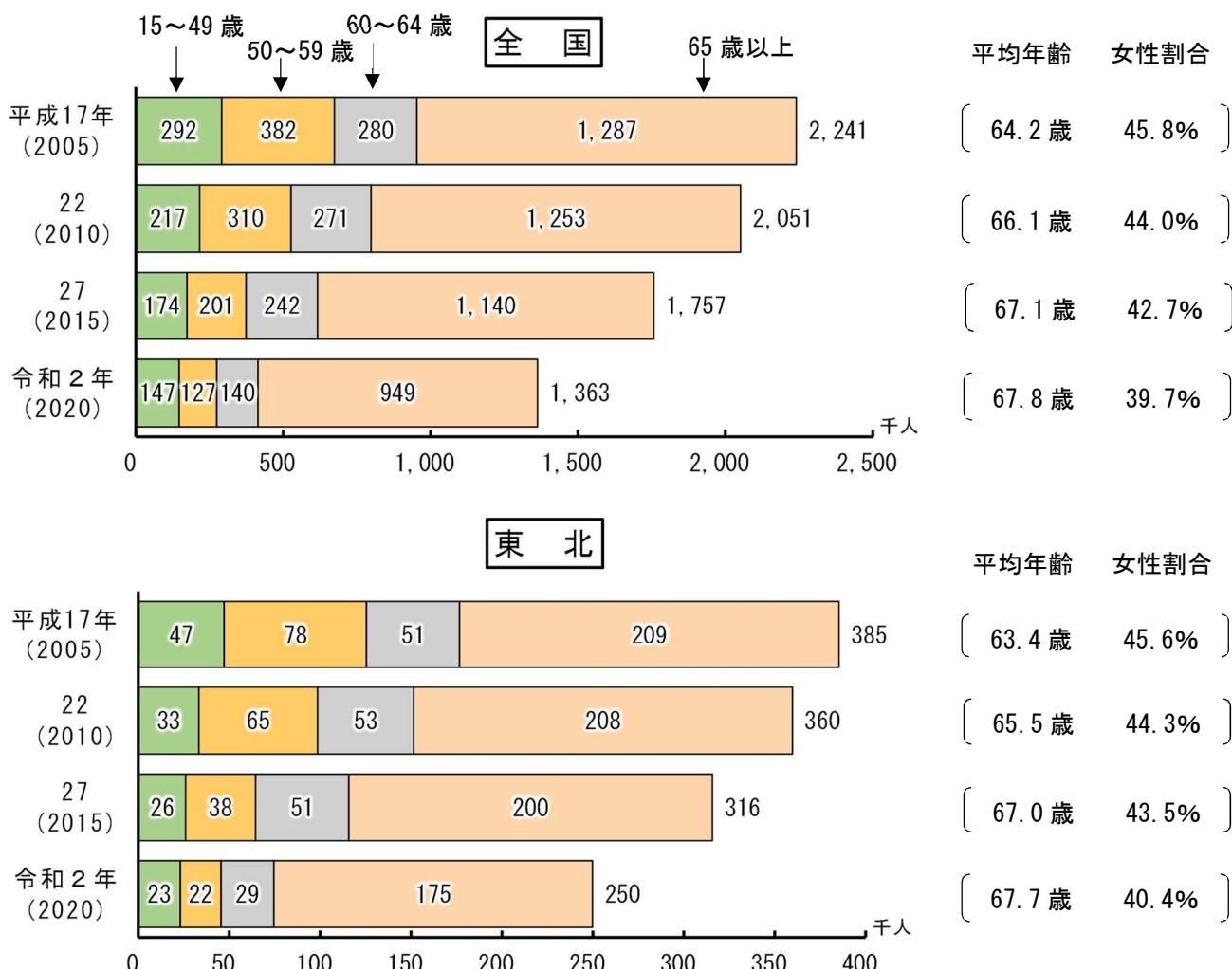


(6) 個人経営体の基幹的農業従事者の推移

基幹的農業従事者数は減少傾向で、高齢化が進む

- 東北の基幹的農業従事者^{※1}数（個人経営体^{※2}）は、全国と同様に減少傾向にあり、令和2(2020)年は25万人で、5年前に比べ6万6,000人(20.9%)減少しています。このうち15~49歳以下をみると2万3,000人で、5年前に比べ3,000人(11.3%)減少しています（図表1-42）。また、平均年齢は67.7歳で、5年前に比べて0.7歳上昇し高齢化が進んでいます。女性の割合は40.4%で、5年前に比べて3.1ポイント低下し、低下傾向が続いています（図表1-42）。
- 県別では、令和2(2020)年で福島県が5万2,000人と最も多くなっています。また、平均年齢については、青森県が65.4歳で最も低く、福島県が69.2歳で最も高くなっています。女性の割合については、青森県が44.7%で最も高くなっています（図表1-43）。

図表1-42 基幹的農業従事者数の年齢別内訳、平均年齢及び女性割合の推移(全国・東北)



資料：農林水産省「農林業センサス」

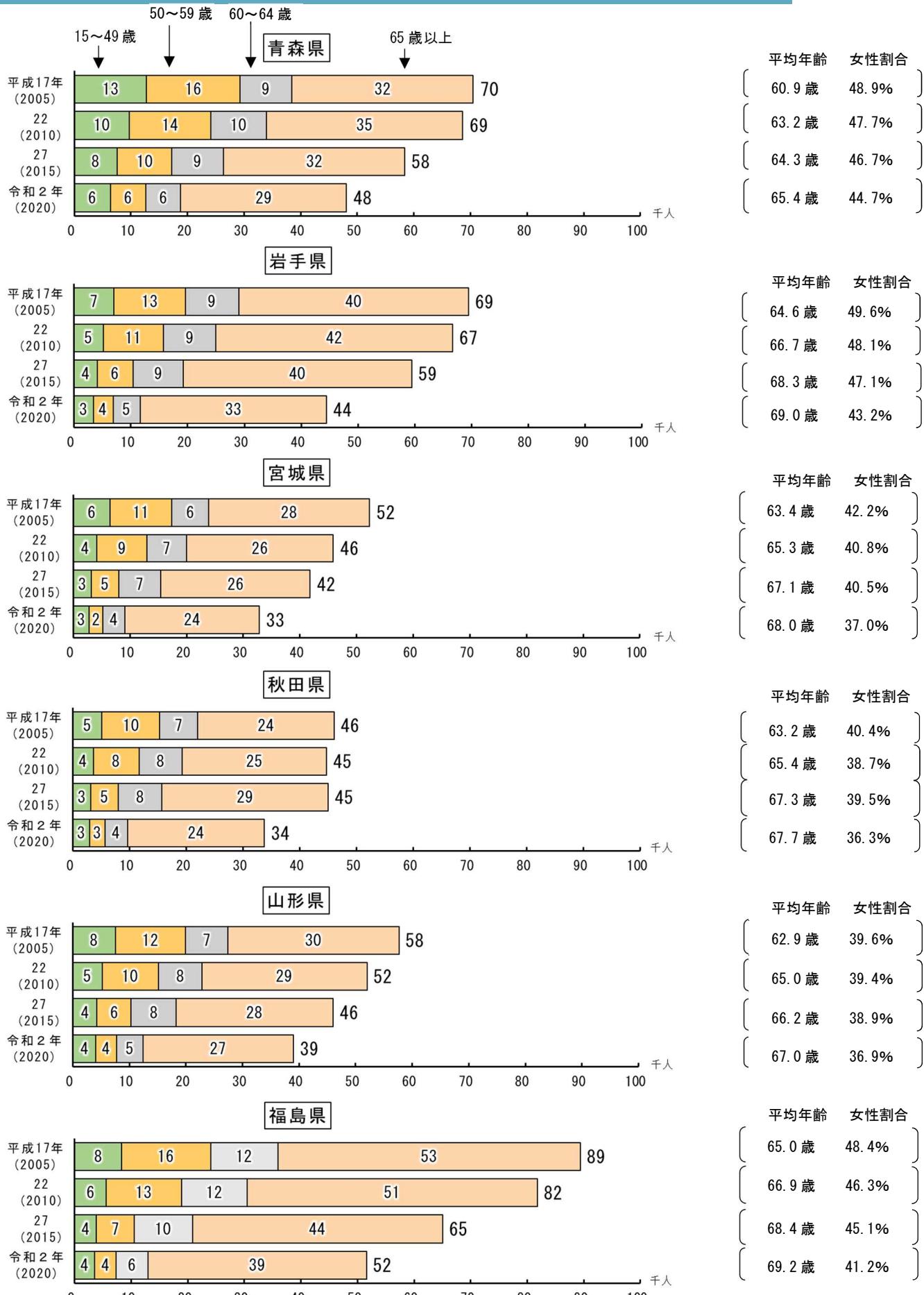
注：1)統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

2)平成17(2005)年及び平成22(2010)年は「販売農家」の数値

※1 「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

※2 「個人経営体」とは、個人(世帯)で事業を行う経営体をいう。なお、法人化して事業を行う経営体は含まない。

図表 1-43 基幹的農業従事者数の年齢別内訳、平均年齢及び女性割合の推移(県別)



資料：農林水産省「農林業センサス」

注：1) 統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
2) 平成17(2005)年及び平成22(2010)年は「販売農家」の数値

